

(2) 観点別の平均正答率から

観点別の正答率とは、各問題の正答率を問題から測ることのできる能力等に再整理したもの

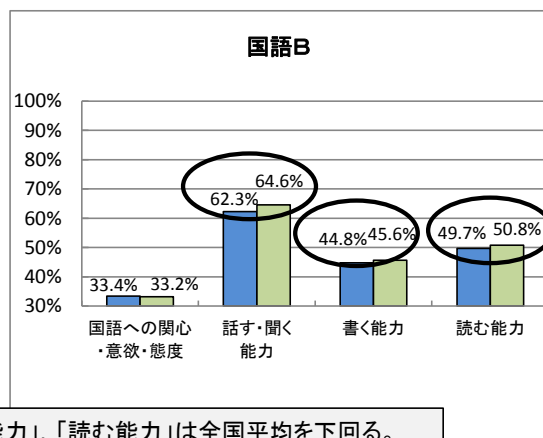
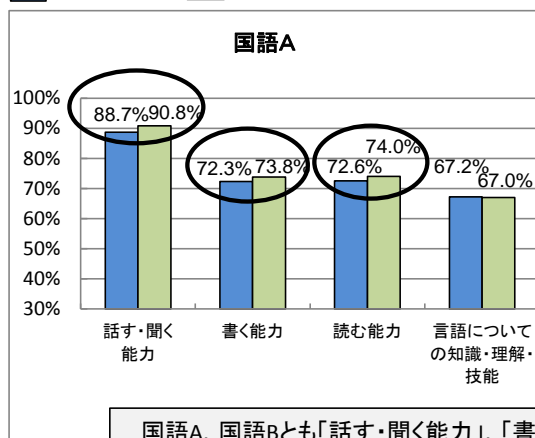
【小学校】

【国語】国語Aでは、4観点のうち「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」の3観点が全国平均を下回った。また、国語Bにおいても同様の状況であった。

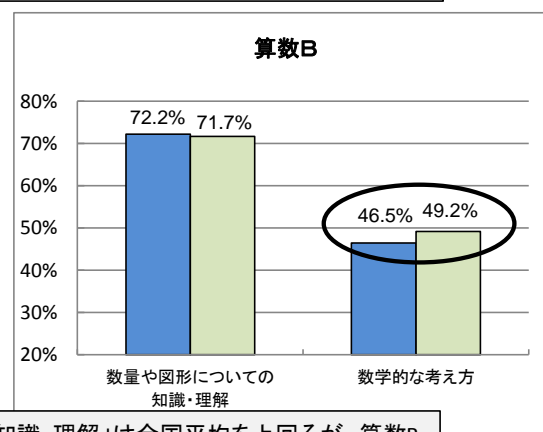
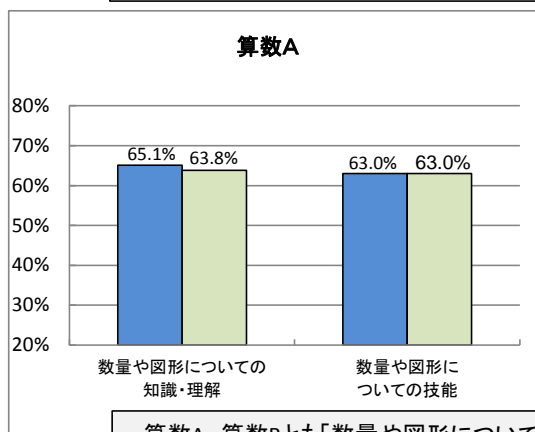
【算数】算数Bについては、昨年度より全国平均との差が大きくなった。「数学的な考え方」が全国より大きく下回ったことが要因である。

【理科】「自然事象についての知識・理解」は、全国より7ポイント以上高い。しかし、全国平均を下回った要因は、16問中12問出題されている「科学的な思考・表現」、「観察・実験の技能」が2ポイント以上低いことが要因だと考えられる。

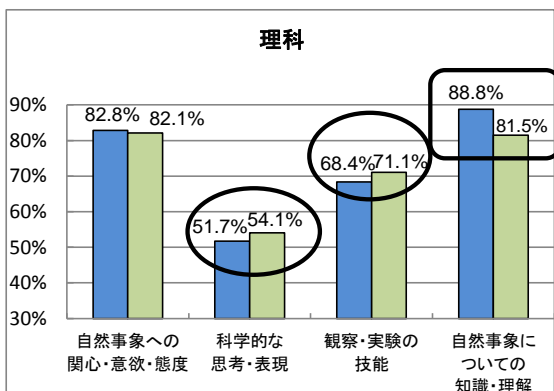
■ 鹿児島県 ■ 全国



国語A、国語Bとも「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」は全国平均を下回る。



算数A、算数Bとも「数量や図形についての知識・理解」は全国平均を上回るが、算数Bにおいて「数学的な考え方」は全国平均を下回る。



「自然事象についての知識・理解」は、全国平均を大きく上回る。「科学的な思考・表現」、「観察・実験の技能」は全国平均を下回る。

【中学校】

【国語】国語Bでは、全ての観点で全国平均を下回った。特に、「読む能力」については、昨年度に比べて全国平均との差が大きくなっている。

【数学】数学Aが全国平均を下回った要因は、「数量や図形についての知識・理解」が下回ったことである。数学Bについては、「数学的な考え方」が今年度も全国平均より低い。

【理科】「観察・実験の技能」については、全国平均と同程度である。しかし、他の3観点については、全国平均を下回っており、29問中16問ある「科学的な思考・表現」が2ポイント近く低いことが、全国平均を下回った要因と考えられる。

■ 鹿児島県 ■ 全国

